

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

BLACK BORDERS

- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(11) 日本特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(13) 実用新案出願公開番号

実開平 6-56310

(43) 公開日 平成 6 年 (1994) 8 月 5 日

(51) Int. Cl.

E04F 15/04

B27M 3/04

特許記号

庁内登録番号

F I

技術表示箇所

F 7805-2E

2101-28

特許請求 有 請求項の数 I F D (全 2 頁)

(21) 出願番号 実開平 5 2838

(22) 出願日 平成 5 年 (1993) 1 月 7 日

(71) 出願人 000204985

大建工業株式会社

〒山形県新庄市波田町波田 1 番地の 1

(72) 発明者 山上 勉

大阪市北区中之島 2-3-18 大建工業

株式会社内

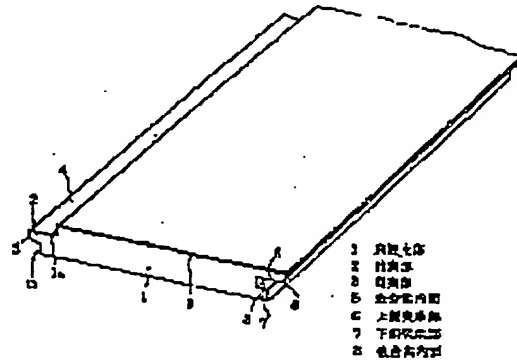
(74) 代理人 弁理士 山本 孝

(54) 【発明の名称】 床 版

(57) 【要約】

【目的】 建具部材の組合が円滑に行われて施工性に優れた床版を提供する。

【構成】 床版主体 1 の一側端部中央に突設した建具部 2 の先端面を上端から下面中央部に向かう円弧状の嵌合案内面 5 に形成すると共に建具部 2 の上面を建具の嵌合平面 4 に形成する一方、他側端部中央に凹設した建具部 3 の上側突条部 6 を下側突条部 7 よりも大きく突出させると共にその突出端面を円弧状の嵌合案内面 6 に形成した溝を有し、先に施工した床版の建具部 2 の嵌合嵌合平面 4 上に次に施工する床版の建具部 3 の上側突条部 5 の円弧状嵌合案内面 6 を当接させ且つ下側突条部 7 の先端を建具部 2 の円弧状嵌合案内面 5 に当接させた状態にして嵌め合わせるように構成している。



【発明名称】

【請求項 1】 一定厚みを有する突形状床材主体の一側端面の中央部に起突部を、他側端面の中央部に該起突部が嵌合可能な形状を有する起突部を夫々設けてなる床材において、該起突部の上面突出部を下面突出部よりも幅広い嵌合平坦面に形成すると共に該起突部の突出部の上面から該起突部の下面間を斜め内方に傾斜する円錐状の嵌合案内面に形成し、さらに、該起突部の上下突突部における上側突突部を下面突突部よりもその突出部を長く形成していると共にその突出部を上面から該起突部の開口上縁縁に向かって斜め内方に傾斜する円錐状の嵌合案内面に形成していることを特徴とする床材。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明床材の一部を欠出した斜視図。

【図 2】 その底面正视图。

【図 3】 施工状態を示す断面図。

【図 4】 嵌合した状態の断面図。

【図 5】 従来例を示す断面図。

【図 6】 その施工状態を示す断面図。

【図 7】 他の構造を有する従来例の断面図。

【符号の説明】

- 1 床材主体
- 2 起突部
- 3 起突部
- 4 嵌合嵌合平坦面
- 5 嵌合案内面
- 6 上側突突部
- 7 下側突突部
- 8 嵌合案内面

